

●協働学習 ■児童生徒実践型

実践タイトル 協働学習で地域の魅力をホームページに

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

タブレットPC

・自分たちが伝える地域の伝統芸能の特色を静止画と文章で説明させ、表現力を高める。

Web教材

・友だちと考えを練りあう協働学習によって、見る人にわかりやすいホームページを工夫して作る。

参考にしてほしいポイント

- ・かつて北海道日本海沿岸で繁栄した鯨漁の伝統を今に伝える「沖揚げ音頭」の特色と魅力を、協働学習によって見る人にわかりやすく伝えるホームページを作る。
- ・昔と今の鯨漁を出前授業で教えてくれた漁師さんの話を要約し、伝える。
- ・公開したホームページについて意見をもらい、よりわかりやすく書き直す（本時以降）。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 5	前時に立てた次の項目ごとに「沖揚げ音頭」をわかりやすく紹介する方法を話し合う。 ・歴史…本時 ・練習の様子（用具や役割）…本時 ・鯨漁の昔と今…漁師さんの出前授業後 ・写真集…今年の発表終了後	・前時に考えた構想メモ ・静止画リスト
展開 6 35	・電子模造紙ソフトウェアに、グループ（歴史グループと練習グループ）ごとに写真を貼り付け、説明文を記述する。 ・友だちが書き込んだ内容を確認し、よりわかりやすい説明になるように話し合う。	・電子模造紙ソフトウェア ・タブレットPC (写真1・2)
まとめ 36 45	・グループごとに作成した2つのページを相互に評価し、良い点や改善すべき点を指摘する。修正。 ・ページをインターネットに公開するのは、教師側で行い、公開したホームページを家族、地域の方やパートナーズスクールの友だちに見てもらい、今後意見をもらうことを確認する。	・電子黒板 (写真3)



写真1：練習の様子（手前）と歴史のグループ（奥）に別れ、それぞれ協力してホームページを作る



写真2：取材ノートや構想メモを見ながら、説明する内容を相談



写真3：完成した歴史グループのホームページ

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・協働学習でホームページ作りができるようになり、友だちと意見交換をしてよりわかりやすい説明にしようという意識が高まった。
- ・指導者の名前を出していいかが話題になった。担当が、その方の了承を得て学校のホームページで紹介していることを伝え解決した。ホームページの個人情報の扱いに対する意識が高まった。

活用効果

評価の観点	・資料活用能力・表現力	具体的変容	・伝統芸能の取り組みを伝えることができる写真を選択することができた。 ・説明文と写真によって、わかりやすく地域の伝統芸能の魅力を伝えることができた。
-------	-------------	-------	---

実践の手応え

- ・完成したホームページは保護者から「説明がわかりやすく、写真も見やすい」と好評だった。
- ・激励を受けた児童は、次の取材に意欲的に取り組んでいる。